

# 生き方・判断力を鍛える「伝統的な言語文化」授業開発 —『平家物語』（中学二年）の「習得・活用（読書レポート）」を例に—

佐藤 洋一\* 有田 弘樹\*\*

\*教職実践講座

\*\*愛知県春日井市立松原中学校

## How to Develop the Classes of Classical Language and Culture to Train Pupil's Way of Life and Judgement in Their Life —A Study on 'HeikeMonogatari' (For Second-year Students in Junior High School) to Acquire Some Skills and Them to Their Learning and Writing a Book Report—

Yoichi SATO\* and Hiroki ARITA\*\*

\*Graduate School of Practitioners in Education, Aichi University of Education, Kariya 448-8542, Japan

\*\*Matsubara Junior High School, Kasugai 486-0803, Japan

### 一 はじめに一学びの実態と今日的な実践課題—

改正教育基本法・学校教育法を受けた新学習指導要領では、学力の3要素（習得・活用・探究、主体的学習意欲と習慣化等）等とともに「伝統と文化の尊重」が示された。国語科では〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕が新設、小学校から中学・高校へと「伝統的な言語文化」（古文・漢文、諺・慣用句・故事成語等）を系統的に指導・評価することとなった。

一方、学校現場では文法偏重指導や訓詁注釈型・原典読解志向の指導、学習者主体の活動型指導等が見受けられる。その結果、「伝統的な言語文化」理解につながる古典の魅力や楽しさに気づけない子どもや、苦手意識をもつ子どもを増やしている（注1）。

### 二 何のための「伝統的な言語文化」指導か？

#### 1. 言語力とともに主体性、批評的な精神の育成

国語科の役割は、言語力育成とともに文化や民族・歴史の意味等を学ぶことである。それは、言語がコミュニケーションの方法や思考・発想形式（型）＝アイデンティティそのものであり、国や民族固有の伝統や文化・歴史という厚みを持っているためである。

「伝統的な言語文化」の教育は、国際化が進む複雑な情報社会を生きる子ども達に現代と未来を「生き抜くための学力」と、日本文化・日本語の位置と構造、それらをどう解釈し自己の生き方・判断力に生かすかという主体的・批評的な精神を鍛えることである。

子ども達が伝統的な言語文化に「親しみ」を持ち、日本人・日本文化の特質や思考・発想形式、現代に今も生き続ける美意識や情緒、価値観等の意義を楽しく系統的に指導できる授業開発が必要である（注2）。

本稿は、〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕の授業・評価研究を、古典で育てる学力、日本語の特色や位置と構造、日本文化・日本人としてのアイデンティティや思考・発想形式等を見直し現代に活かす等の観点から、国語科古典授業モデルを提案する。特に「生きる力」・主体的課題解決能力につながる「思考力・判断力・表現力等」（活用力）の育成という重要実践課題からの検討と提案等を中心に論じていく。

#### 2. 「伝統的な言語文化」授業開発のポイント

—「伝統的な言語文化」を生かす言語技術—（詳細は省略）

- (1) 「到達目標」（身につけさせる言語力）の明確化  
…「習得」から「活用」への段階的な学習過程を。
- (2) 「音読・暗唱」の重視（範読・斉読・一斉読み等）  
…音声・リズムによる思考・発想の型の学習に。
- (3) 「現代語訳」の積極的な紹介と活用  
…古典の真の魅力や楽しさ、おもしろさの発見に。
- (4) 省略された「背景・価値観等」の選択と指導  
…日本人・日本文化理解から自己の生きる課題へ。
- (5) テキスト形式の特質を生かした言語技術の応用  
…正確な内容理解から「自分の考え」をもたせる。

#### 3. 「習得・活用（探究）」までの段階的な学習過程

—生徒達全員に「言語力」と「主体的・批評的精神」（生き方・判断力）を育むために—

「習得（基礎・基本の学力）」から「活用（探究）」への段階的な学習過程論は、生徒・教師に「評価観」（到達目標）が明確になる系統的な指導構想の基礎である。「習得」の段階では他の記録・小説教材にも一般化可能な古文の読み方（読み解き批評する観点）の学習から国語科固有の「言語力」を身につけさせる。「活用」段階では読書報告文を論理的にまとめ、それらを伝え

深め合う学習から「自分の考え・解釈」を交流・評価する「言語力」を身につけさせる。生徒の発見や気づき・課題追究といった主体性を生かし、自己の生き方・判断力等も見つめ直す（考え深める）という主体的・批評的精神も鍛えられる（詳細は「資料1」）。

### 三 「伝統的な言語文化」（古文）教材を生かす 主な視点—『平家物語』「扇的」を例に—

#### 1. 『平家物語』がもつ魅力や文化的価値

『平家物語』は貴族から武士の時代への転換点が史実と虚構を織り交ぜ描かれている。新しい価値観に翻弄され死に向き合わざるを得ない平家と、厳しく追い詰める新興勢力としての源氏が極限状態の中で生の輝きを発揮するところにこの作品の魅力や価値がある。

授業化にあたっては、「滅びゆくもののおもしろさ」の発見を、死と向き合う『平家物語』群像の描写から、「時代の価値観や流れを正しく判断できずに翻弄され生きる人間の運命」「時代を超えてある日本人の感性や情緒」等の観点から生かすことが重要である。これらは、欧米型の文化的価値観・感性からは見出しがたい日本人の豊かな思想・発想や美意識の一つでもある。

#### 2. テキスト形式（表現形式）の特質を生かす

国語科教材を多様な「テキスト形式（表現形式）」の特質から生かすという新たな発想からの授業開発が必要である（注2）。『平家物語』は「記録・伝記・ノンフィクション」と「物語・小説」のテキスト形式の応用型として捉え、記録や小説の「読み方」（言語技術）を楽しく教えながら「自分の観点から考えを持たせる」学習が効果的である。豊かな読書活動や実生活に生きて働く「言語力」を育ませるとともに、日本人としての自己の「生き方・判断力」も鍛えられる（注3）。

#### 3. 到達目標からみた教材の生かし方（詳細は「五」）

—『平家物語』（記録・小説）における言語技術—

- (1) 省略された「当時の常識・時代背景等」の理解  
…当時の常識的な価値観・美意識・身分制社会等。
- (2) 「状況設定」を確かめる  
…登場人物の名前や人数・時代・季節・舞台等。
- (3) 「場面構成」（物語・小説の基本構成）の理解  
…「状況設定・出来事の出発点・展開・発展・結末」
- (4) 「中心人物」の変化、行動の意味と解釈の理解  
…人物像の変化、行動の意味から何を考えるか。
- (5) 「対比的人物」の役割・効果の理解  
…中心人物以外の人物の役割や魅力を楽しみ解釈。
- (6) 「個性的な表現・イメージ」の読み方の理解  
…人物描写・自然描写、象徴的な優れた表現の解釈。
- (7) 自分の関心等から「自分の考え・解釈」をもつ  
…現代の立場から見て、違いや共通性への意見等。

### 四 実践の概要

#### 1. 児童生徒の実態—何が課題か？—

#### (1) 読み解き批評する方法・技術

「どの部分に注目して読めばいいのか?」「何について読み取り、どのように表現すればいいのか?」等、「自分の考え・解釈」をもつための読み方（言語技術）が十分身につけていない生徒が多い。

#### (2) 日本人の生活・文化に息づく古典の魅力

多くの古典は親しみやすい昔話・民話・伝承等として絵本やアニメ等に形を変え、今も生徒達の身近に生きている。だが、誤った理解・解釈や「言葉が難しい」「何がおもしろい?」「どうして古文を読む（学ぶ）必要がある?」等、苦手意識を抱く生徒が少なくない。

#### (3) 「自分の考え・解釈」と評価観

「感想はあるけど、考えたことは特にない」「まとめ方がわからない」等と戸惑う生徒の姿が見られる。交流・学び合いの場面でも相手の立場や背景を理解したり、論理的な説明力や個性的な着眼点、資料の効果的な活用等に考慮した意見交流はあまり見られない。

### 2. 学習目標

- (1) 古文特有の知識（古典語の特徴や日本人のものの見方・考え方）を楽しく理解できる。【習得1】
- (2) 古文の状況設定、人物設定やエピソードの内容を「正確に・豊かに」読み取れる。【習得2】
- (3) 古文を自分の立場等から再構成し、「読書レポート」を論理的に書くことができる。【活用1】
- (4) 「読書レポート」の内容を発信・交流することで、「自分の生き方・考え方」を深めたり新たな読書意欲を高めたりすることができる。【活用2】

### 3. 評価基準のポイント

- (1) 古典クイズや年表・イラスト等を通して、古文を正確に理解するために必要な古文特有の知識（時代の常識的な価値観）を理解できる。
- (2) 古文も現代文の読み方が活かせることを理解し、場面構成・状況設定・人物設定やエピソードの内容を「正確に・豊かに」読み解くことができる。
- (3) 習得したことをもとに、自分の立場や関心等から観点を選択、「自分の考え・解釈」を読書報告文に書ける。「はじめ・なか・まとめ・むすび」の論理的な構成の型で書くことができる。
- (4) 読書報告文の発信・交流学习を通して、普遍的な価値観や日本文化の魅力の再発見、日本人としての「自己の生き方・考え方」を深めたり、他の古典を読んだりしようとするすることができる。

### 4. 学習指導計画（8時間完了）（「資料1」参照）

## 五 実践「扇的」—古文の「習得」から「活用」へ—

### 1. 導入・基礎学習【習得型学習1】（1時間）

—古文の魅力や楽しさ、学び方を確かめる学習—

「古文はむずかしい」「わかりにくい」と考える生徒達に学習意欲（伝統文化への親しみ）を持たせる。古典語のもつ独特の意味や時代の常識的価値観、「竹取

物語」の読み方等をクイズ形式で楽しく理解させた。クイズは初級編・上級編に分け、レベルを上げるように工夫。(学習シート①, 資料2)。次に、あらかじめ場面分けした本文を配布, 原文を教師が範読。その後, 学習シート②(略)に「面白かったこと」「疑問に思ったこと」等の感想を書かせた(生徒の感想は省略)。

2. 基本学習【習得型学習2】(3時間)

一観点を知り、「記録・小説」を楽しく読む学習一

基本学習では, 古典も現代文の読み方を応用できるという立場から「正確に／豊かに」読み解いていった。

(1) 時代背景・日本人の思考・発想の理解

学習シート③(資料3)では, 作品が描かれた時代背景や作品全体を貫くテーマとあらすじ, 時代の常識的価値観等の理解。時代背景は平安末期から鎌倉中期までを「年表形式」にまとめ, 一目で理解できるよう作成。生徒達は, 「源平の合戦」が舞台であること, 「扇の的」は平家滅亡の寸前を描いた場面であること, 勝者である源氏の側から描かれたこと等を理解した。

また, 作品全体と「扇の的」との関係がわかるよう, 『平家物語』のあらすじとテーマを理解させた。琵琶法師によって伝承された物語であること, 日本人らしいものの見方・考え方(無常観の成立)等, 作品成立前後の常識的価値観も理解。時代背景や常識的価値観を理解することは, 現代にも生きる日本人の豊かな思想・美意識の原点, 「死」と向き合わざるを得ない緊迫

した状況, 主従関係の厳しさ等を理解するためにも必要な知識であり, 古典学習の重要な観点である。

生徒からは「平家物語がこんなにすごいものだとは思ってなかった(日本人の考え方の基本になった等)」「日本人独特の精神や美意識がよくわかった(日本人と欧米人の考え方の違い等)」「時代背景がわかったので, より詳しく話の内容を理解できた」等が出された。

(2) 場面構成・あらすじの理解

学習シート④(資料4)では, 「扇の的」のあらすじと文章構成の理解。本文中のキーワードを見つけ出し, 小説(・物語)の基本的な場面構成(状況設定・出来事の発端・展開・発展・結末)がわかるよう作成。

(3) 記録・小説の基本的な「読み方」の理解

正確に楽しく読むための観点を知るために学習シート⑤⑥を作成。記録や小説の基本的な読み方として, 「状況設定, 場面構成, 人物像の設定と変化・役割, 表現(描写)の方法と効果」等を到達目標とした。

①「状況設定」の理解

学習シート⑤(資料5)では, 「扇の的」の「状況設定」と「中心人物の設定と変化(行動の意味と立場)」を読み取らせた。日時・季節舞台・主な登場人物・陣の位置関係・海の状態・扇までの距離等をクイズ形式にしたりキーワード化したりして楽しく理解させた。

②「中心人物」の変化, 行動の意味と解釈の理解

中心人物である那須与一の設定と変化(行動の意

資料1 学習指導計画「習得・活用(探究)」への学習過程(学習モデル)と身につけさせるべき「言語力」一

段階	時	習得型学習1(導入・基礎)	習得型学習2(基本学習)	活用型学習1(発展的学習)	活用型学習2(交流)	評価・一般化	
1	1	1 古文クイズをする。 2 古文の学び方(読み方)を理解する。 3 範読により全文を通読する。 4 「自分の考え・解釈」を持ったための基礎的な観点を持って「扇の的」を読む。	1 時代背景を理解する。 (1) 「平家滅亡」までの流れ (2) 「扇の的」の位置づけ (3) 「源平の合戦」(扇の戦い)の様子 2 「平家物語」の「あらすじ」と「テーマ」を理解する。 3 日本人独特の「ものの見方・考え方」を理解する。 (1) 「琵琶法師」による伝承された物語 (2) 「無常観」の成立	1 「平家物語」(「扇の的」)についての論理的な「読書レポート」をまとめる。 2 「平家物語」(「扇の的」)の書き方(まとめ方)を理解する。 (1) 論理的な文章構成の「型」を理解する。 (2) 自分の立場・関心等から「自分の考え・解釈」をもつための観点を理解する (3) 構成メモに「自分の考え・解釈」を書く。	1 原稿をもとにして, 発表会をする。 2 友達の前に対して意見をもち, 互いの意見を交流する。(相違点, 表現力と読解力, 根拠やエピソード, 生活経験とのつながり等)	1 学習全体を通して「わかったこと」や「考えたこと」を振り返る。他教科や実生活等へつながる「新たな学びの視点」を獲得する。	1 学習の観点に従って, 自己評価させて学習したことを一般化させる。 →振り返りシート
2	2	1 古文特有の知識が, 古文を理解するのに大切なことを知らせる。 (1) 年表を活用して, 全体像がわかるようにする。 (2) 平家滅亡の「直前」であることを理解させる。 (3) イラストを活用して, 義経軍の進路を確認させる。 2 「平家物語」のあらすじと全体を貫くテーマを理解させる。 3	1 琵琶法師の「平曲」によって暗唱されて伝わったことを知らせる。(七五調のリスム) (2) 「フラウンダースの犬」の日本版とアメリカ版の違いから理解させる。 →学習シート3 4 全体の構成(状況設定・発端・展開・発展・結末)をつかませる。 →学習シート4 5 場面設定(日時・季節・陣の位置関係・海の状態・扇までの距離など)を正確に理解させる。 6 「与一」の出自や年齢・身分・立場等を読み取らせる。 →資料シート →学習シート5	1 教師のモデル原稿を読み聞かせて, 学習への興味・関心を高めさせる。 (1) 「はじめ・なか・まとめ・むすび」の4段階の論理的な文章構成とその内容を理解させる。 (2) 自分の好きな(印象的な)「場面・人物・表現」の中から観点を決めさせる。 (3) 「習得」で学んだことをもとにして, 情報の選択・再構成させる。 →学習シート7 2 構成メモをもとにして, 「自分の考え・解釈」を論理的にまとめさせる。 →学習シート8	1 グループ(4人1グループ)で交流させて, それぞれに感想・意見・質問・疑問等をいわせる。 2 学級全体で(3人程度)交流させて, 感想・意見や質問・疑問等をいわせる。 →学習シート9	1 古文への興味・関心を高めさせる。 2 古文が学が意義, 古文のわかる「読み方」を説明する。 →学習シート1 3 あらかじめ場面分けした本文シートを配布する。 →本文シート 4 全文通読後, おもしろい場面や疑問に思った場面等について「自分の考え・解釈」を持たせる。 →学習シート2	1 古文特有の知識が, 古文を理解するのに大切なことを知らせる。 (1) 年表を活用して, 全体像がわかるようにする。 (2) 平家滅亡の「直前」であることを理解させる。 (3) イラストを活用して, 義経軍の進路を確認させる。 2 「平家物語」のあらすじと全体を貫くテーマを理解させる。 3
3	3	1 琵琶法師の「平曲」によって暗唱されて伝わったことを知らせる。(七五調のリスム) (2) 「フラウンダースの犬」の日本版とアメリカ版の違いから理解させる。 →学習シート3 4 全体の構成(状況設定・発端・展開・発展・結末)をつかませる。 →学習シート4 5 場面設定(日時・季節・陣の位置関係・海の状態・扇までの距離など)を正確に理解させる。 6 「与一」の出自や年齢・身分・立場等を読み取らせる。 →資料シート →学習シート5	1 琵琶法師の「平曲」によって暗唱されて伝わったことを知らせる。(七五調のリスム) (2) 「フラウンダースの犬」の日本版とアメリカ版の違いから理解させる。 →学習シート3 4 全体の構成(状況設定・発端・展開・発展・結末)をつかませる。 →学習シート4 5 場面設定(日時・季節・陣の位置関係・海の状態・扇までの距離など)を正確に理解させる。 6 「与一」の出自や年齢・身分・立場等を読み取らせる。 →資料シート →学習シート5	1 教師のモデル原稿を読み聞かせて, 学習への興味・関心を高めさせる。 (1) 「はじめ・なか・まとめ・むすび」の4段階の論理的な文章構成とその内容を理解させる。 (2) 自分の好きな(印象的な)「場面・人物・表現」の中から観点を決めさせる。 (3) 「習得」で学んだことをもとにして, 情報の選択・再構成させる。 →学習シート7 2 構成メモをもとにして, 「自分の考え・解釈」を論理的にまとめさせる。 →学習シート8	1 グループ(4人1グループ)で交流させて, それぞれに感想・意見・質問・疑問等をいわせる。 2 学級全体で(3人程度)交流させて, 感想・意見や質問・疑問等をいわせる。 →学習シート9	1 古文への興味・関心を高めさせる。 2 古文が学が意義, 古文のわかる「読み方」を説明する。 →学習シート1 3 あらかじめ場面分けした本文シートを配布する。 →本文シート 4 全文通読後, おもしろい場面や疑問に思った場面等について「自分の考え・解釈」を持たせる。 →学習シート2	1 古文特有の知識が, 古文を理解するのに大切なことを知らせる。 (1) 年表を活用して, 全体像がわかるようにする。 (2) 平家滅亡の「直前」であることを理解させる。 (3) イラストを活用して, 義経軍の進路を確認させる。 2 「平家物語」のあらすじと全体を貫くテーマを理解させる。 3
4	4	1 琵琶法師の「平曲」によって暗唱されて伝わったことを知らせる。(七五調のリスム) (2) 「フラウンダースの犬」の日本版とアメリカ版の違いから理解させる。 →学習シート3 4 全体の構成(状況設定・発端・展開・発展・結末)をつかませる。 →学習シート4 5 場面設定(日時・季節・陣の位置関係・海の状態・扇までの距離など)を正確に理解させる。 6 「与一」の出自や年齢・身分・立場等を読み取らせる。 →資料シート →学習シート5	1 琵琶法師の「平曲」によって暗唱されて伝わったことを知らせる。(七五調のリスム) (2) 「フラウンダースの犬」の日本版とアメリカ版の違いから理解させる。 →学習シート3 4 全体の構成(状況設定・発端・展開・発展・結末)をつかませる。 →学習シート4 5 場面設定(日時・季節・陣の位置関係・海の状態・扇までの距離など)を正確に理解させる。 6 「与一」の出自や年齢・身分・立場等を読み取らせる。 →資料シート →学習シート5	1 教師のモデル原稿を読み聞かせて, 学習への興味・関心を高めさせる。 (1) 「はじめ・なか・まとめ・むすび」の4段階の論理的な文章構成とその内容を理解させる。 (2) 自分の好きな(印象的な)「場面・人物・表現」の中から観点を決めさせる。 (3) 「習得」で学んだことをもとにして, 情報の選択・再構成させる。 →学習シート7 2 構成メモをもとにして, 「自分の考え・解釈」を論理的にまとめさせる。 →学習シート8	1 グループ(4人1グループ)で交流させて, それぞれに感想・意見・質問・疑問等をいわせる。 2 学級全体で(3人程度)交流させて, 感想・意見や質問・疑問等をいわせる。 →学習シート9	1 古文への興味・関心を高めさせる。 2 古文が学が意義, 古文のわかる「読み方」を説明する。 →学習シート1 3 あらかじめ場面分けした本文シートを配布する。 →本文シート 4 全文通読後, おもしろい場面や疑問に思った場面等について「自分の考え・解釈」を持たせる。 →学習シート2	1 古文特有の知識が, 古文を理解するのに大切なことを知らせる。 (1) 年表を活用して, 全体像がわかるようにする。 (2) 平家滅亡の「直前」であることを理解させる。 (3) イラストを活用して, 義経軍の進路を確認させる。 2 「平家物語」のあらすじと全体を貫くテーマを理解させる。 3
5	5	1 琵琶法師の「平曲」によって暗唱されて伝わったことを知らせる。(七五調のリスム) (2) 「フラウンダースの犬」の日本版とアメリカ版の違いから理解させる。 →学習シート3 4 全体の構成(状況設定・発端・展開・発展・結末)をつかませる。 →学習シート4 5 場面設定(日時・季節・陣の位置関係・海の状態・扇までの距離など)を正確に理解させる。 6 「与一」の出自や年齢・身分・立場等を読み取らせる。 →資料シート →学習シート5	1 琵琶法師の「平曲」によって暗唱されて伝わったことを知らせる。(七五調のリスム) (2) 「フラウンダースの犬」の日本版とアメリカ版の違いから理解させる。 →学習シート3 4 全体の構成(状況設定・発端・展開・発展・結末)をつかませる。 →学習シート4 5 場面設定(日時・季節・陣の位置関係・海の状態・扇までの距離など)を正確に理解させる。 6 「与一」の出自や年齢・身分・立場等を読み取らせる。 →資料シート →学習シート5	1 教師のモデル原稿を読み聞かせて, 学習への興味・関心を高めさせる。 (1) 「はじめ・なか・まとめ・むすび」の4段階の論理的な文章構成とその内容を理解させる。 (2) 自分の好きな(印象的な)「場面・人物・表現」の中から観点を決めさせる。 (3) 「習得」で学んだことをもとにして, 情報の選択・再構成させる。 →学習シート7 2 構成メモをもとにして, 「自分の考え・解釈」を論理的にまとめさせる。 →学習シート8	1 グループ(4人1グループ)で交流させて, それぞれに感想・意見・質問・疑問等をいわせる。 2 学級全体で(3人程度)交流させて, 感想・意見や質問・疑問等をいわせる。 →学習シート9	1 古文への興味・関心を高めさせる。 2 古文が学が意義, 古文のわかる「読み方」を説明する。 →学習シート1 3 あらかじめ場面分けした本文シートを配布する。 →本文シート 4 全文通読後, おもしろい場面や疑問に思った場面等について「自分の考え・解釈」を持たせる。 →学習シート2	1 古文特有の知識が, 古文を理解するのに大切なことを知らせる。 (1) 年表を活用して, 全体像がわかるようにする。 (2) 平家滅亡の「直前」であることを理解させる。 (3) イラストを活用して, 義経軍の進路を確認させる。 2 「平家物語」のあらすじと全体を貫くテーマを理解させる。 3
6	6	1 琵琶法師の「平曲」によって暗唱されて伝わったことを知らせる。(七五調のリスム) (2) 「フラウンダースの犬」の日本版とアメリカ版の違いから理解させる。 →学習シート3 4 全体の構成(状況設定・発端・展開・発展・結末)をつかませる。 →学習シート4 5 場面設定(日時・季節・陣の位置関係・海の状態・扇までの距離など)を正確に理解させる。 6 「与一」の出自や年齢・身分・立場等を読み取らせる。 →資料シート →学習シート5	1 琵琶法師の「平曲」によって暗唱されて伝わったことを知らせる。(七五調のリスム) (2) 「フラウンダースの犬」の日本版とアメリカ版の違いから理解させる。 →学習シート3 4 全体の構成(状況設定・発端・展開・発展・結末)をつかませる。 →学習シート4 5 場面設定(日時・季節・陣の位置関係・海の状態・扇までの距離など)を正確に理解させる。 6 「与一」の出自や年齢・身分・立場等を読み取らせる。 →資料シート →学習シート5	1 教師のモデル原稿を読み聞かせて, 学習への興味・関心を高めさせる。 (1) 「はじめ・なか・まとめ・むすび」の4段階の論理的な文章構成とその内容を理解させる。 (2) 自分の好きな(印象的な)「場面・人物・表現」の中から観点を決めさせる。 (3) 「習得」で学んだことをもとにして, 情報の選択・再構成させる。 →学習シート7 2 構成メモをもとにして, 「自分の考え・解釈」を論理的にまとめさせる。 →学習シート8	1 グループ(4人1グループ)で交流させて, それぞれに感想・意見・質問・疑問等をいわせる。 2 学級全体で(3人程度)交流させて, 感想・意見や質問・疑問等をいわせる。 →学習シート9	1 古文への興味・関心を高めさせる。 2 古文が学が意義, 古文のわかる「読み方」を説明する。 →学習シート1 3 あらかじめ場面分けした本文シートを配布する。 →本文シート 4 全文通読後, おもしろい場面や疑問に思った場面等について「自分の考え・解釈」を持たせる。 →学習シート2	1 古文特有の知識が, 古文を理解するのに大切なことを知らせる。 (1) 年表を活用して, 全体像がわかるようにする。 (2) 平家滅亡の「直前」であることを理解させる。 (3) イラストを活用して, 義経軍の進路を確認させる。 2 「平家物語」のあらすじと全体を貫くテーマを理解させる。 3
7	7	1 琵琶法師の「平曲」によって暗唱されて伝わったことを知らせる。(七五調のリスム) (2) 「フラウンダースの犬」の日本版とアメリカ版の違いから理解させる。 →学習シート3 4 全体の構成(状況設定・発端・展開・発展・結末)をつかませる。 →学習シート4 5 場面設定(日時・季節・陣の位置関係・海の状態・扇までの距離など)を正確に理解させる。 6 「与一」の出自や年齢・身分・立場等を読み取らせる。 →資料シート →学習シート5	1 琵琶法師の「平曲」によって暗唱されて伝わったことを知らせる。(七五調のリスム) (2) 「フラウンダースの犬」の日本版とアメリカ版の違いから理解させる。 →学習シート3 4 全体の構成(状況設定・発端・展開・発展・結末)をつかませる。 →学習シート4 5 場面設定(日時・季節・陣の位置関係・海の状態・扇までの距離など)を正確に理解させる。 6 「与一」の出自や年齢・身分・立場等を読み取らせる。 →資料シート →学習シート5	1 教師のモデル原稿を読み聞かせて, 学習への興味・関心を高めさせる。 (1) 「はじめ・なか・まとめ・むすび」の4段階の論理的な文章構成とその内容を理解させる。 (2) 自分の好きな(印象的な)「場面・人物・表現」の中から観点を決めさせる。 (3) 「習得」で学んだことをもとにして, 情報の選択・再構成させる。 →学習シート7 2 構成メモをもとにして, 「自分の考え・解釈」を論理的にまとめさせる。 →学習シート8	1 グループ(4人1グループ)で交流させて, それぞれに感想・意見・質問・疑問等をいわせる。 2 学級全体で(3人程度)交流させて, 感想・意見や質問・疑問等をいわせる。 →学習シート9	1 古文への興味・関心を高めさせる。 2 古文が学が意義, 古文のわかる「読み方」を説明する。 →学習シート1 3 あらかじめ場面分けした本文シートを配布する。 →本文シート 4 全文通読後, おもしろい場面や疑問に思った場面等について「自分の考え・解釈」を持たせる。 →学習シート2	1 古文特有の知識が, 古文を理解するのに大切なことを知らせる。 (1) 年表を活用して, 全体像がわかるようにする。 (2) 平家滅亡の「直前」であることを理解させる。 (3) イラストを活用して, 義経軍の進路を確認させる。 2 「平家物語」のあらすじと全体を貫くテーマを理解させる。 3
8	8	1 琵琶法師の「平曲」によって暗唱されて伝わったことを知らせる。(七五調のリスム) (2) 「フラウンダースの犬」の日本版とアメリカ版の違いから理解させる。 →学習シート3 4 全体の構成(状況設定・発端・展開・発展・結末)をつかませる。 →学習シート4 5 場面設定(日時・季節・陣の位置関係・海の状態・扇までの距離など)を正確に理解させる。 6 「与一」の出自や年齢・身分・立場等を読み取らせる。 →資料シート →学習シート5	1 琵琶法師の「平曲」によって暗唱されて伝わったことを知らせる。(七五調のリスム) (2) 「フラウンダースの犬」の日本版とアメリカ版の違いから理解させる。 →学習シート3 4 全体の構成(状況設定・発端・展開・発展・結末)をつかませる。 →学習シート4 5 場面設定(日時・季節・陣の位置関係・海の状態・扇までの距離など)を正確に理解させる。 6 「与一」の出自や年齢・身分・立場等を読み取らせる。 →資料シート →学習シート5	1 教師のモデル原稿を読み聞かせて, 学習への興味・関心を高めさせる。 (1) 「はじめ・なか・まとめ・むすび」の4段階の論理的な文章構成とその内容を理解させる。 (2) 自分の好きな(印象的な)「場面・人物・表現」の中から観点を決めさせる。 (3) 「習得」で学んだことをもとにして, 情報の選択・再構成させる。 →学習シート7 2 構成メモをもとにして, 「自分の考え・解釈」を論理的にまとめさせる。 →学習シート8	1 グループ(4人1グループ)で交流させて, それぞれに感想・意見・質問・疑問等をいわせる。 2 学級全体で(3人程度)交流させて, 感想・意見や質問・疑問等をいわせる。 →学習シート9	1 古文への興味・関心を高めさせる。 2 古文が学が意義, 古文のわかる「読み方」を説明する。 →学習シート1 3 あらかじめ場面分けした本文シートを配布する。 →本文シート 4 全文通読後, おもしろい場面や疑問に思った場面等について「自分の考え・解釈」を持たせる。 →学習シート2	1 古文特有の知識が, 古文を理解するのに大切なことを知らせる。 (1) 年表を活用して, 全体像がわかるようにする。 (2) 平家滅亡の「直前」であることを理解させる。 (3) イラストを活用して, 義経軍の進路を確認させる。 2 「平家物語」のあらすじと全体を貫くテーマを理解させる。 3

資料2 学習シート① 古典の魅力や読む楽しさ、学び方に気づかせる学習シート

学習シート①

扇の的ー平家物語からー 平家物語のおもしろさと、古文が楽しくわかる読み方の習得・活用学習

二年 組

番 名前

【STEP1】 古典は楽しいぞ編  
ー今と同じ？違う？古文入門クイズ！ー

【初級編】  
京都に都があった平安時代（七九四～一九二二年）の約四〇〇年間は、帝を頂点とする貴族社会でした。京都を中心の狭い社会では、使われる言葉も独特の意味をもっていました。例えば、世界Ⅱ「京都市中」を意味し、西欧やインドなどは含んでいませんでした。

1. 次の言葉のあらわす意味は何でしょうか？  
・花：梅 桜 桃 桔梗 彼岸花 撫子 秋桜  
・寺：金閣寺 法隆寺 三井寺（園城寺） 石寺  
・山：小倉山 富士山 比叡山（延暦寺） 石巻山
2. 姫君（女性）の結婚適齢年齢は？  
八～九歳 一三～一七歳 一八～一九歳 二二～二四歳

3. 平安時代の「美人」の条件は？  
①髪型：ロングヘアー ショートカット  
②髪の色：茶髪 金髪 黒髪 白髪  
③顔の形：顎の小さな小顔 下ぶくれのふつくら顔  
④目の形：細い一重の眼 ぱっちりした二重の眼  
⑤歯の色：白くきれいな歯 黒く塗った歯  
⑥眉の形：白おとした眉 柳葉に整えた眉

【上級編】  
「一年生では「竹取物語」を読みました。竹取物語は、かの紫式部によって「物語のいできはじめの祖」と語られるほど、小説的価値が高く評価されています！（作者は不詳）



1. 「かくや姫」は、どこで見つかった？  
①かかや姫の中 ②若石の隙間 ③竹の筒の中  
※どうしてこういふところから？
2. 「なよ竹」のかくや姫と名付けられたのは、なぜ？  
①家具を創るのが上手で、翁夫婦はおかげで裕福になったから  
②光り輝くように美しいから  
③その輝きで悪魔や病気を退散させる不思議な力があつたから  
④目力が強く、この世の女性とは思えない容姿があつたから
3. かくや姫は、八月一日（満月の夜）に月の世界に帰る秘宝を盗つた。月の世界の人は、秘宝を盗つたことを知ると、次で二つ選ぼう。  
①月の世界には高麗がある  
②月の世界には狐がいる  
③月の世界は記憶は全くない  
④月の世界は自由にできる
4. かくや姫が、地上の竹取の翁のもとに使われたのはなぜ？  
月の使者はどう語っているか、次から二つ選ぼう。  
①かくや姫は月の世界で罪を犯したので、地上に使われた  
②かくや姫は地上の世界を選び、やつてきた  
③かくや姫は地上の人々に美の布を伝えるために使われた  
④竹取の翁が竹を毎日取つていて、環境に影響を与えていたので竹取の翁が善行（よい行い）を積んだので派遣した  
⑤竹取の翁が欲望のために大切なものを失うことに気づかせるため

【STEP1】 古典の学習の方法を知ろう！  
ーなぜ、古文を学ばなければいけないの？ー

古文（漢文）の世界の深い魅力を知り、楽しい学び方を知ることは、自分の言葉の世界を豊かにするために、これから日本人として生きていく上で、自分らしい生き方を創っていくためにもとても大切だ。  
古文を学ぶことが、「日本人としての（自分らしい）生き方」を考えるきっかけになるといいですね！

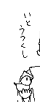
☆古文を楽しく学ぶための「秘訣」をばせ、古文を学ぶか！

1. 日本語の歴史的な変化や仕組みが学べる！  
・昔と今との言葉で変わっているものや変わっていないもの、その変化の理由などがわかること、とてもおもしろいよ。
2. 日本人の「もの」の見方・感じ方・原型が学べる！  
・今から一〇〇〇年前の「平安時代」に今の日本人の「感じ方」や考え方の原型ができたよ。女性達の活躍です。
3. 世界の文学などにも負けない優れた作品がいっぱい！  
・イギリスやフランスなどの西ヨーロッパよりも早く、日本の優れた文学や記録などがたくさん書かれたよ。日本の誇りだなあ。
4. 古典は「大人」が本当におもしろいと知ってきたかも！  
・時代が変わっても人生のおもしろさ、厳しさ、かましみなどを知つてくる人（大人）たちが、「あの本当におもしろい」と思つたのだけが突つたんだよ。



☆楽しくわかる古文の読み方「どうやって、古文を学ぶか」

1. 声に出して「音読」しよう！  
・古文は主に「音読」によって伝わってきたんだよ。
2. 先に「テーマ」を知ってから、自分の立場で読もう！  
・授業では一部分しか読んでいないよ。作品全体のテーマを知つてから読むと内容の理解がグンと深まるよ。
3. 「現代語訳」でどんどん読もう！  
・ストーリーや出来事を楽しみながら読んでいこう。  
・その当時の様子（時代背景）を知つてから読もう！  
・古文には書かれていない「省略」や「省景」があるよ。背景を少し知つてから読むと、より楽しく読めるよ。
4. 古文も「現代文」と同じように読もう！  
・古文も「現代文（小説・物語）」「説明文」「随筆」などの読み方が応用できるよ。



資料3 学習シート③ 時代背景・その時代の常識的な価値観等を理解するための学習シート（シート1枚は省略）

STEP4 「平家物語」って、要するにどんな話なの？  
ー平家物語のあらましとテーマー

1. 「平家物語」のストーリー（あらまし）  
諸国の受領に過ぎなかった平家一門が、「平清盛」の大政大臣昇進によって栄華を誇つていき、清盛の死後、平家の勢力は次第に衰えていき、「源氏」の新興勢力によって「源平合戦」の戦いで敗れ、最後には滅亡してしまふ物語。

2. 「平家物語」のテーマ（主題）  
先生は次のように考えています。（これは一つの見方です）  
①「滅びゆくもの美しさ」の書札  
②時代の価値観や流れを正しく判断できず、翻弄された者が生きていく人間の運命（無常観）  
③時代を超えて今にも残る「日本人の感じ方や考え方」（親子の情愛・主従関係の絆・女性から子への愛など）  
みんなも、「自分なりのテーマ」を考えてみよう！

3. 参考にしよう！  
「平家物語」は「三世紀中頃（二四二年前頃）に成立した軍記物語で作者不詳。和漢混交文を中心として、擬音・擬態語・七五調などを織り交ぜた文体。

【STEP5】 なぜ「平家物語」を読むの？  
ー日本独特の「もの」の見方・考え方の成立ー

1. 「平家物語」って、どうやって伝わったの？  
ー「琵琶法師」によって伝えられた物語ー  
「平家物語」は、鎌倉時代後期に、各地を歩き回っていた「琵琶法師（盲目の法師）」によって、「平曲」で琵琶を使い、七五調のリズムある語り方として語られてきた。琵琶法師は旅ゆく人々の心を慰めるために語つてきたため、「平家物語」の「無常観」が日本人の発想として次第に民衆たちに定着されていきました。
2. 「滅びゆくもの美しさ」は当たり前じゃない？  
ー日本人の「もの」の見方・美意識（無常観）の成立ー  
名作「源平合戦」は少年源頼朝と老若平家トラスシユが無実の罪を著せられる。雪の降る中、住むところも希望も失つた平家は、念願のルーベンスの絵の前でパトラシユとともに天に召される。  
アメリカ版「フランダーズの犬」は日本版と終わり方が違います。アメリカ版の終わり方は、日本版とどうちがう？  
①ネロとパトラシユは村人たちを訴えた。  
②ネロとパトラシユは聖堂から逃げ出した。  
③ネロとパトラシユは聖堂で死なずに幸せに暮らした。  
④ネロとパトラシユは真犯人をさがす旅に出た。



扇の的を見事に射て、扇を飛ばす那須与一（中央）  
『平家物語』の絵巻を貼り付け  
（『平家物語』巻十一 東京・永青文庫蔵）

「屋島の合戦」の源氏軍進路地図を貼り付け  
「屋島の合戦」での義経軍（源氏）の進路

「源平合戦地図」を貼り付け

資料4 学習シート④ 場面構成とあらすじを読み取る学習シート

学習シート④

扇の「平家物語」からー「平家物語のおでしよと、古大が楽しくわかる読み方の習得活用学習ー


二年 組 番号

☆「スナフ⑥」の場面の構成とあらすじをキーワードをまもめよう。

それぞれの場面の( )にあてはまるキーワードを、「本文シート」から抜き出して、あらすじを完成させよう！

( )には数字が、( )には人名が入るよ！

場面	場面	状況設定	発端	展開	展開	発端	結末
6	6	1	2	3	4	6	7
<p>(1) 二 月十八日、午後 六 時ごろのことであった。</p> <p>(2) 船は上下に漂っているので、竿頭の(扇)も揺れ動き、静止していない。</p> <p>(3) (沖) には平家が、海上一面に船を並べて見物している。</p> <p>(4) (陸) には源氏が、馬のくつわを連ねて見守っている。</p> <p>(1) 与( ) は、「南無八幡大菩薩、日光の権現、宇都宮大明神、那須の湯泉大明神に、扇の真ん中を射させたまえ」と念じた。</p> <p>(2) すると、風も少しおさまり、扇の射がすくなっていた。</p> <p>(1) 与( ) は、かぶら矢を取ってつがえ、十分に引き絞ってひょうと放った。</p> <p>(2) かぶら矢は、扇の要から( ) 寸ほど離れたところをひいふつと射切った。</p> <p>(3) かぶら矢は飛んで(海)へ落ち、扇は(空)へと舞い上がり、(海)へさつと散り落ちた。</p> <p>(4) (沖) では平家が、舟端をたいて感嘆する。</p> <p>(5) (陸) では源氏がえびらをたたいてはやしたてた。</p>	<p>(1) 舟の中から、<b>年のころ五十歳ばかりの男</b>が、扇を立ててあつた所に立って(舞)を舞った。</p> <p>(2) そのとき、<b>伊勢三郎義盛</b>が<b>与( )</b>の後ろへ馬を歩ませてきて、「(御定)であるぞ、射よ」と命じた。</p> <p>(3) 男の(頸の骨)をひょうふつと射ると、男を船底へ真の逆さまに射倒した。</p> <p>(4) (平家) 方は静まり返って音もしな。</p> <p>(5) (源氏) 方は今度もえびらをたたいてどつと歓声を上げた。</p> <p>(1) 「ああ、よく射た。」と言う人もあり。</p> <p>(2) また、「心ないことを」と言う者もあった。</p>	<p>(1) 平安時代初期</p> <p>(2) 平安時代末期</p> <p>(3) 鎌倉時代初期</p> <p>(4) 室町時代初期</p> <p>2、「扇の」はいつのときの話かな？</p> <p>元暦(一一八五)年二月十八日午後六時頃</p> <p>3、季節はいつ？</p> <p>(1)春 (2)夏 (3)秋 (4)冬</p> <p>4、「扇の」の舞台となる場所はどこかな？</p> <p>(1)羽島(岐阜)</p> <p>(2)一の谷(兵庫)</p> <p>(3)屋島(香川)</p> <p>(4)壇の浦(山口)</p> <p>5、主な登場人物を4人書こう。</p> <p>(1)中心人物はだれかな？ (那須与一) <b>源氏</b></p> <p>(2)4場面に登場する人物は？ (年五十ばかりなる男) <b>平家</b></p> <p>(3)5場面に登場する人物は？ <b>伊勢三郎義盛</b> <b>源氏</b></p> <p>(4)中心人物に命令する人は？ (源氏) <b>源氏</b></p> <p>6、「平家」と「源氏」の陣の位置関係を確認しよう。</p> <p>(1)平家… <b>沖</b> (2)源氏… <b>陸</b></p> <p>7、膠着状態の中、口撃れを迎えんと平家側が「扇の」を船底に立てます。その様子がわかる部分を口で回そう。</p> <p>※<b>扇</b>からそのときの詳しい様子を確認してみよう！</p> <p>※なぜ、このような女房が出てきたのかな？(目的は？)</p>	<p>1、「平家物語」の時代はいつかな？</p> <p>(1)平安時代初期</p> <p>(2)平安時代末期</p> <p>(3)鎌倉時代初期</p> <p>(4)室町時代初期</p> <p>2、「扇の」はいつのときの話かな？</p> <p>元暦(一一八五)年二月十八日午後六時頃</p> <p>3、季節はいつ？</p> <p>(1)春 (2)夏 (3)秋 (4)冬</p> <p>4、「扇の」の舞台となる場所はどこかな？</p> <p>(1)羽島(岐阜)</p> <p>(2)一の谷(兵庫)</p> <p>(3)屋島(香川)</p> <p>(4)壇の浦(山口)</p> <p>5、主な登場人物を4人書こう。</p> <p>(1)中心人物はだれかな？ (那須与一) <b>源氏</b></p> <p>(2)4場面に登場する人物は？ (年五十ばかりなる男) <b>平家</b></p> <p>(3)5場面に登場する人物は？ <b>伊勢三郎義盛</b> <b>源氏</b></p> <p>(4)中心人物に命令する人は？ (源氏) <b>源氏</b></p> <p>6、「平家」と「源氏」の陣の位置関係を確認しよう。</p> <p>(1)平家… <b>沖</b> (2)源氏… <b>陸</b></p> <p>7、膠着状態の中、口撃れを迎えんと平家側が「扇の」を船底に立てます。その様子がわかる部分を口で回そう。</p> <p>※<b>扇</b>からそのときの詳しい様子を確認してみよう！</p> <p>※なぜ、このような女房が出てきたのかな？(目的は？)</p>				



資料5 学習シート⑤ 「状況設定」と「中心人物」(与一)の変化・行動の意味を読み取る学習シート

学習シート⑤

扇の「平家物語」からー「平家物語のおでしよと、古大が楽しくわかる読み方の習得活用学習ー

二年 組 番号


☆「スナフ⑦」の状況設定を正しく確かめよう！

中心人物の「おわり」を読み取ろう！

なぜ、那須与一が選ばれたのだろうか？

中心人物の「おわり」を読み取ろう！

6	5	4	3	2	1	1	1
<p>(1)中心人物はだれかな？ (那須与一) <b>源氏</b></p> <p>(2)4場面に登場する人物は？ (年五十ばかりなる男) <b>平家</b></p> <p>(3)5場面に登場する人物は？ <b>伊勢三郎義盛</b> <b>源氏</b></p> <p>(4)中心人物に命令する人は？ (源氏) <b>源氏</b></p> <p>6、「平家」と「源氏」の陣の位置関係を確認しよう。</p> <p>(1)平家… <b>沖</b> (2)源氏… <b>陸</b></p> <p>7、膠着状態の中、口撃れを迎えんと平家側が「扇の」を船底に立てます。その様子がわかる部分を口で回そう。</p> <p>※<b>扇</b>からそのときの詳しい様子を確認してみよう！</p> <p>※なぜ、このような女房が出てきたのかな？(目的は？)</p>	<p>5、主な登場人物を4人書こう。</p> <p>(1)中心人物はだれかな？ (那須与一) <b>源氏</b></p> <p>(2)4場面に登場する人物は？ (年五十ばかりなる男) <b>平家</b></p> <p>(3)5場面に登場する人物は？ <b>伊勢三郎義盛</b> <b>源氏</b></p> <p>(4)中心人物に命令する人は？ (源氏) <b>源氏</b></p> <p>6、「平家」と「源氏」の陣の位置関係を確認しよう。</p> <p>(1)平家… <b>沖</b> (2)源氏… <b>陸</b></p> <p>7、膠着状態の中、口撃れを迎えんと平家側が「扇の」を船底に立てます。その様子がわかる部分を口で回そう。</p> <p>※<b>扇</b>からそのときの詳しい様子を確認してみよう！</p> <p>※なぜ、このような女房が出てきたのかな？(目的は？)</p>	<p>4、「扇の」の舞台となる場所はどこかな？</p> <p>(1)羽島(岐阜)</p> <p>(2)一の谷(兵庫)</p> <p>(3)屋島(香川)</p> <p>(4)壇の浦(山口)</p> <p>5、主な登場人物を4人書こう。</p> <p>(1)中心人物はだれかな？ (那須与一) <b>源氏</b></p> <p>(2)4場面に登場する人物は？ (年五十ばかりなる男) <b>平家</b></p> <p>(3)5場面に登場する人物は？ <b>伊勢三郎義盛</b> <b>源氏</b></p> <p>(4)中心人物に命令する人は？ (源氏) <b>源氏</b></p> <p>6、「平家」と「源氏」の陣の位置関係を確認しよう。</p> <p>(1)平家… <b>沖</b> (2)源氏… <b>陸</b></p> <p>7、膠着状態の中、口撃れを迎えんと平家側が「扇の」を船底に立てます。その様子がわかる部分を口で回そう。</p> <p>※<b>扇</b>からそのときの詳しい様子を確認してみよう！</p> <p>※なぜ、このような女房が出てきたのかな？(目的は？)</p>	<p>3、季節はいつ？</p> <p>(1)春 (2)夏 (3)秋 (4)冬</p> <p>4、「扇の」の舞台となる場所はどこかな？</p> <p>(1)羽島(岐阜)</p> <p>(2)一の谷(兵庫)</p> <p>(3)屋島(香川)</p> <p>(4)壇の浦(山口)</p> <p>5、主な登場人物を4人書こう。</p> <p>(1)中心人物はだれかな？ (那須与一) <b>源氏</b></p> <p>(2)4場面に登場する人物は？ (年五十ばかりなる男) <b>平家</b></p> <p>(3)5場面に登場する人物は？ <b>伊勢三郎義盛</b> <b>源氏</b></p> <p>(4)中心人物に命令する人は？ (源氏) <b>源氏</b></p> <p>6、「平家」と「源氏」の陣の位置関係を確認しよう。</p> <p>(1)平家… <b>沖</b> (2)源氏… <b>陸</b></p> <p>7、膠着状態の中、口撃れを迎えんと平家側が「扇の」を船底に立てます。その様子がわかる部分を口で回そう。</p> <p>※<b>扇</b>からそのときの詳しい様子を確認してみよう！</p> <p>※なぜ、このような女房が出てきたのかな？(目的は？)</p>	<p>2、「扇の」はいつのときの話かな？</p> <p>元暦(一一八五)年二月十八日午後六時頃</p> <p>3、季節はいつ？</p> <p>(1)春 (2)夏 (3)秋 (4)冬</p> <p>4、「扇の」の舞台となる場所はどこかな？</p> <p>(1)羽島(岐阜)</p> <p>(2)一の谷(兵庫)</p> <p>(3)屋島(香川)</p> <p>(4)壇の浦(山口)</p> <p>5、主な登場人物を4人書こう。</p> <p>(1)中心人物はだれかな？ (那須与一) <b>源氏</b></p> <p>(2)4場面に登場する人物は？ (年五十ばかりなる男) <b>平家</b></p> <p>(3)5場面に登場する人物は？ <b>伊勢三郎義盛</b> <b>源氏</b></p> <p>(4)中心人物に命令する人は？ (源氏) <b>源氏</b></p> <p>6、「平家」と「源氏」の陣の位置関係を確認しよう。</p> <p>(1)平家… <b>沖</b> (2)源氏… <b>陸</b></p> <p>7、膠着状態の中、口撃れを迎えんと平家側が「扇の」を船底に立てます。その様子がわかる部分を口で回そう。</p> <p>※<b>扇</b>からそのときの詳しい様子を確認してみよう！</p> <p>※なぜ、このような女房が出てきたのかな？(目的は？)</p>	<p>1、「平家物語」の時代はいつかな？</p> <p>(1)平安時代初期</p> <p>(2)平安時代末期</p> <p>(3)鎌倉時代初期</p> <p>(4)室町時代初期</p> <p>2、「扇の」はいつのときの話かな？</p> <p>元暦(一一八五)年二月十八日午後六時頃</p> <p>3、季節はいつ？</p> <p>(1)春 (2)夏 (3)秋 (4)冬</p> <p>4、「扇の」の舞台となる場所はどこかな？</p> <p>(1)羽島(岐阜)</p> <p>(2)一の谷(兵庫)</p> <p>(3)屋島(香川)</p> <p>(4)壇の浦(山口)</p> <p>5、主な登場人物を4人書こう。</p> <p>(1)中心人物はだれかな？ (那須与一) <b>源氏</b></p> <p>(2)4場面に登場する人物は？ (年五十ばかりなる男) <b>平家</b></p> <p>(3)5場面に登場する人物は？ <b>伊勢三郎義盛</b> <b>源氏</b></p> <p>(4)中心人物に命令する人は？ (源氏) <b>源氏</b></p> <p>6、「平家」と「源氏」の陣の位置関係を確認しよう。</p> <p>(1)平家… <b>沖</b> (2)源氏… <b>陸</b></p> <p>7、膠着状態の中、口撃れを迎えんと平家側が「扇の」を船底に立てます。その様子がわかる部分を口で回そう。</p> <p>※<b>扇</b>からそのときの詳しい様子を確認してみよう！</p> <p>※なぜ、このような女房が出てきたのかな？(目的は？)</p>	<p>1、資料から、与一の「はじめ」の様子(設定)を読み取ろう。</p> <p>(1)与一の出身はどこ？ <b>下野(現在の栃木県)</b></p> <p>(2)与一の年齢はいくつくらい？</p> <p>①十歳くらい</p> <p>②十五歳くらい</p> <p>③二十歳くらい</p> <p>④五十歳以上</p> <p>(3)与一の身なり(格好)がわかる部分を口で回してみよう。</p> <p>※身分は高いのかな？低いのかな？</p> <p>(4)与一が義経に選ばれた理由がわかる部分を抜き出そう。</p> <p>※ヒント：義経の部下、後藤実盛が語っているよ！</p> <p>(那須与一は、空飛ぶ鳥を射落とす秘技でも、三羽に二羽は確実に命中させます。)</p>	<p>1、資料から、与一の「はじめ」の様子(設定)を読み取ろう。</p> <p>(1)与一の出身はどこ？ <b>下野(現在の栃木県)</b></p> <p>(2)与一の年齢はいくつくらい？</p> <p>①十歳くらい</p> <p>②十五歳くらい</p> <p>③二十歳くらい</p> <p>④五十歳以上</p> <p>(3)与一の身なり(格好)がわかる部分を口で回してみよう。</p> <p>※身分は高いのかな？低いのかな？</p> <p>(4)与一が義経に選ばれた理由がわかる部分を抜き出そう。</p> <p>※ヒント：義経の部下、後藤実盛が語っているよ！</p> <p>(那須与一は、空飛ぶ鳥を射落とす秘技でも、三羽に二羽は確実に命中させます。)</p>



⑧「状況設定」をあらためて確認してみよう。

1、状況設定をあらためて確認してみよう。  
 ①陸から扇までの「距離」はどれくらい？  
 ②約五〇メートル（二五間くらい）  
 ③約七〇メートル（四〇間くらい）  
 ④約一八〇メートル（一〇〇間くらい）



- 2、「視界」はどんな感じかな？
- ①春の朝方のため、くつきりとよく見える。
  - ②冬の夕方のため、ほとんど暗くてよくわからない。
  - ③冬の朝方のため、薄暗くてよくわからない。
  - ④夏の夕方のため、夕焼けがきれいによく見える。

- 3、「海の状態」はどんな感じかな？
- ①西風があまり吹かなかったため、波がともおだやか。
  - ②西風があまり吹き、波がとも高い。
  - ③北風が激しく吹き、波がとも高い。
  - ④北風が激しく吹いたので、扇はどこかへ飛んでいった。

4、「扇の状態」はどんな感じかな？

- ①波がおだやかだったため、扇は揺れずに定まっていた。
- ②船が上下に揺れたため、扇も上下に揺れて定まらない。
- ③女房が扇をしきりに揺らさず、扇は揺れて定まらない。
- ④北風が激しく吹いたので、扇はどこかへ飛んでいった。

5、与一は「こんなにも多くの神さまに祈っているのかな？」  
 ①自分の考え「無敵」を簡単に書いてみよう。  
 (神に祈らなくても、普通に矢を射たらいいんじゃないの？)  
 ②「なるほど」と思ったこと  
 ③「伝えないを通して、改めて考えてみよう」

⑨「義経」の場面(4)「場面」を確認しよう。

1、「義経」の場面(4)「場面」を確認しよう。  
 (1)「年五十ばかりなる男」を射るまじりに命令したのはだれ？  
 (2)もしこの命令に背いたら、与一はどうなったかな？  
 義経によって殺されてしまう。

3、与一が「年五十ばかりなる男」を射たときの様子がわかる部分を書いてみよう。

- 2、「展開(扇を射る)」と「発展(平家を射る)」の様子から、このときの与一の状態をまとめよう。
- 与一(死)と向き合ひざるえない無限の状態。

敵の「平家」からも、味方の「義経」からも命をねらわれているんだね！



☆今日の学習の振り返りをしよう！  
 1、今日の授業を受けて、わかったこと、を書こう。  
 (授業で学んだことや、初めて知ったことなど)  
 2、今日の授業を受けて、「考えたこと」を書こう。  
 (授業を受けて考えたこと、全集中の厳しい状況に立たされた与一についてどんなことを考えたか、これから考えていきたいことなど)

資料6 学習シート⑥ 「対比的人物」の役割・効果と、象徴的な表現を読み取る学習シート

学習シート⑥ 劇的・平家物語から「平家物語のおもしろさ」を、古くから楽しくわかる読み方の「習得・活用」学習

⑧「状況設定」をあらためて確認してみよう。  
 1、状況設定をあらためて確認してみよう。  
 ①陸から扇までの「距離」はどれくらい？  
 ②約五〇メートル（二五間くらい）  
 ③約七〇メートル（四〇間くらい）  
 ④約一八〇メートル（一〇〇間くらい）

2、「視界」はどんな感じかな？

- ①春の朝方のため、くつきりとよく見える。
- ②冬の夕方のため、ほとんど暗くてよくわからない。
- ③冬の朝方のため、薄暗くてよくわからない。
- ④夏の夕方のため、夕焼けがきれいによく見える。

- 3、「海の状態」はどんな感じかな？
- ①西風があまり吹かなかったため、波がともおだやか。
  - ②西風があまり吹き、波がとも高い。
  - ③北風が激しく吹き、波がとも高い。
  - ④北風が激しく吹いたので、扇はどこかへ飛んでいった。

4、「扇の状態」はどんな感じかな？

- ①波がおだやかだったため、扇は揺れずに定まっていた。
- ②船が上下に揺れたため、扇も上下に揺れて定まらない。
- ③女房が扇をしきりに揺らさず、扇は揺れて定まらない。
- ④北風が激しく吹いたので、扇はどこかへ飛んでいった。

5、与一は「こんなにも多くの神さまに祈っているのかな？」  
 ①自分の考え「無敵」を簡単に書いてみよう。  
 (神に祈らなくても、普通に矢を射たらいいんじゃないの？)  
 ②「なるほど」と思ったこと  
 ③「伝えないを通して、改めて考えてみよう」

⑨「義経」の場面(4)「場面」を確認しよう。

1、「義経」の場面(4)「場面」を確認しよう。  
 (1)「年五十ばかりなる男」を射るまじりに命令したのはだれ？  
 (2)もしこの命令に背いたら、与一はどうなったかな？  
 義経によって殺されてしまう。

3、与一が「年五十ばかりなる男」を射たときの様子がわかる部分を書いてみよう。

- 2、「展開(扇を射る)」と「発展(平家を射る)」の様子から、このときの与一の状態をまとめよう。
- 与一(死)と向き合ひざるえない無限の状態。

敵の「平家」からも、味方の「義経」からも命をねらわれているんだね！

☆今日の学習の振り返りをしよう！  
 1、今日の授業を受けて、わかったこと、を書こう。  
 (授業で学んだことや、初めて知ったことなど)  
 2、今日の授業を受けて、「考えたこと」を書こう。  
 (授業を受けて考えたこと、これから考えていきたいことなど)

⑩「対比的人物」の役割・効果と、象徴的な表現を読み取る学習シート

⑧「状況設定」をあらためて確認してみよう。  
 1、状況設定をあらためて確認してみよう。  
 ①陸から扇までの「距離」はどれくらい？  
 ②約五〇メートル（二五間くらい）  
 ③約七〇メートル（四〇間くらい）  
 ④約一八〇メートル（一〇〇間くらい）

2、「視界」はどんな感じかな？

- ①春の朝方のため、くつきりとよく見える。
- ②冬の夕方のため、ほとんど暗くてよくわからない。
- ③冬の朝方のため、薄暗くてよくわからない。
- ④夏の夕方のため、夕焼けがきれいによく見える。

- 3、「海の状態」はどんな感じかな？
- ①西風があまり吹かなかったため、波がともおだやか。
  - ②西風があまり吹き、波がとも高い。
  - ③北風が激しく吹き、波がとも高い。
  - ④北風が激しく吹いたので、扇はどこかへ飛んでいった。

4、「扇の状態」はどんな感じかな？

- ①波がおだやかだったため、扇は揺れずに定まっていた。
- ②船が上下に揺れたため、扇も上下に揺れて定まらない。
- ③女房が扇をしきりに揺らさず、扇は揺れて定まらない。
- ④北風が激しく吹いたので、扇はどこかへ飛んでいった。

5、与一は「こんなにも多くの神さまに祈っているのかな？」  
 ①自分の考え「無敵」を簡単に書いてみよう。  
 (神に祈らなくても、普通に矢を射たらいいんじゃないの？)  
 ②「なるほど」と思ったこと  
 ③「伝えないを通して、改めて考えてみよう」

資料7 学習シート⑦ 「読書レポート」の書き方と、「構成メモ」を作成するための学習シート

**学習シート⑦**  
 扇の「平家物語」から「平家物語」のおもしろさと、古くが楽しくわかる読み方の「習得・活用学習」

二年 組 番 名前

「私権」はこう読む、「平家物語」を書く！論理的な読書レポートの書き方を学ぶ！

「私権」はこう読む、「平家物語」を書く！

これまで4時間かけて「平家物語」(扇の)の内容を読み取って来ました。  
 「扇の」を読んで、「自分の考え・解釈」(考えたこと・感じたこと)を「読書レポート」として、論理的にまとめる学習をしましょう！

1、論理的な「読書レポート」のまとめ方を学ぼう！  
 (1)①したら「自分の考え」をわかりやすく伝えられるかな？  
 「論理的な文章構成」の「型」を学ぼう！

構成	内容	分量
序論	話題 ……作品の紹介	10%
本論	なか1 ……具体例1 ……作品のあらすじ	70%
考察	なか2 ……具体例2 ……考えの理由・根拠	10%
まとめ	考察 ……考えたこと・解釈	10%
結論	結論・一般化(伝えたいこと・目標)	10%

「自分の考え・解釈」をまとめるときには、「はじめ」の構成(組み立て)を意識しよう！

実際にまとめるときには、  
 ①「はじめ」②「なか1」③「なか2」④「まとめ」の順序で書いていくとスラスラと書けるよ！

②どうしたら「自分の考え・解釈」がもてるかな？  
 「自分の考え・解釈」をもつための観点を学ぼう！

2、読書レポートを書くための「構想メモ」を考えよう！  
 「自分の立場から「自分の考え・解釈」をしよう！  
 (1)私(僕)が選んだ観点は？  
 (2)その中でも、特に注目したものは？  
 (3)どんなことを考えたり、感じたりしたかな？

好きな「印象的」な  
 (○)場面と(○)場面とか、与(と)か、〇〇の描写など

「読書レポート」のタイトル(題名)を考えよう！  
 「タイトル」をつけるための二つの方法を学ぼう！  
 (1)基本型：「まとめ」のキーワードを、二(二)つぐらい組み合わせたもの。  
 (例) 那須与一の「すばらしさ」  
 (2)応用型：読み手をひきつけるような「イメージ」のキーワードを、二(二)つぐらい組み合わせたもの。  
 (例) 極限状態を体験した「輝かしい人間の姿」  
 「読書レポート」のタイトルを考えてみよう！

3、読書レポートのタイトル(題名)を考えよう！  
 「タイトル」をつけるための二つの方法を学ぼう！  
 (1)基本型：「まとめ」のキーワードを、二(二)つぐらい組み合わせたもの。  
 (例) 那須与一の「すばらしさ」  
 (2)応用型：読み手をひきつけるような「イメージ」のキーワードを、二(二)つぐらい組み合わせたもの。  
 (例) 極限状態を体験した「輝かしい人間の姿」  
 「読書レポート」のタイトルを考えてみよう！

資料8 学習シート⑧ 「読書レポート」を論理的にまとめる学習シート

**学習シート⑧**  
 扇の「平家物語」から「平家物語」のおもしろさと、古くが楽しくわかる読み方の「習得・活用学習」

二年 組 番 名前

「私権」はこう読む、「平家物語」を書く！論理的な読書レポートの書き方を学ぶ！

「私権」はこう読む、「平家物語」を書く！

これまで4時間かけて「平家物語」(扇の)の内容を読み取って来ました。  
 「扇の」を読んで、「自分の考え・解釈」(考えたこと・感じたこと)を「読書レポート」として、論理的にまとめる学習をしましょう！

1、論理的な「読書レポート」のまとめ方を学ぼう！  
 (1)①したら「自分の考え」をわかりやすく伝えられるかな？  
 「論理的な文章構成」の「型」を学ぼう！

構成	内容	分量
序論	話題 ……作品の紹介	10%
本論	なか1 ……具体例1 ……作品のあらすじ	70%
考察	なか2 ……具体例2 ……考えの理由・根拠	10%
まとめ	考察 ……考えたこと・解釈	10%
結論	結論・一般化(伝えたいこと・目標)	10%

「自分の考え・解釈」をまとめるときには、「はじめ」の構成(組み立て)を意識しよう！

実際にまとめるときには、  
 ①「はじめ」②「なか1」③「なか2」④「まとめ」の順序で書いていくとスラスラと書けるよ！

②どうしたら「自分の考え・解釈」がもてるかな？  
 「自分の考え・解釈」をもつための観点を学ぼう！

2、読書レポートを書くための「構想メモ」を考えよう！  
 「自分の立場から「自分の考え・解釈」をしよう！  
 (1)私(僕)が選んだ観点は？  
 (2)その中でも、特に注目したものは？  
 (3)どんなことを考えたり、感じたりしたかな？

好きな「印象的」な  
 (○)場面と(○)場面とか、与(と)か、〇〇の描写など

「読書レポート」のタイトル(題名)を考えよう！  
 「タイトル」をつけるための二つの方法を学ぼう！  
 (1)基本型：「まとめ」のキーワードを、二(二)つぐらい組み合わせたもの。  
 (例) 那須与一の「すばらしさ」  
 (2)応用型：読み手をひきつけるような「イメージ」のキーワードを、二(二)つぐらい組み合わせたもの。  
 (例) 極限状態を体験した「輝かしい人間の姿」  
 「読書レポート」のタイトルを考えてみよう！

3、読書レポートのタイトル(題名)を考えよう！  
 「タイトル」をつけるための二つの方法を学ぼう！  
 (1)基本型：「まとめ」のキーワードを、二(二)つぐらい組み合わせたもの。  
 (例) 那須与一の「すばらしさ」  
 (2)応用型：読み手をひきつけるような「イメージ」のキーワードを、二(二)つぐらい組み合わせたもの。  
 (例) 極限状態を体験した「輝かしい人間の姿」  
 「読書レポート」のタイトルを考えてみよう！

味)の読解。学習シートに取り組む中で、与一のはじめ(設定)とおわり(行動の結果)、行動の内容を簡単にまとめられるよう作成。教科書では与一が選ばれた理由や身なり・格好等が省かれているため、資料シート(略)を補助教材として配布。生徒達は与一の若さや義経が激怒する姿に驚きながら、興味深く学習を進めていた。その後、与一の行動の意味(理由)と立場を考えさせ2場面の与一が多くの神々に祈りを捧げる意味、5場面の舞を舞う平家を射殺すこと等から、与一の「死」と向き合う極限の状態(立場)を解釈させた。

### ③「対比的人物」の役割・効果、優れた表現の理解

学習シート⑥(資料6)では、「対比的人物の設定と役割」と「優れた描写・象徴的イメージ」を読み取らせた。「年五十ばかりなる男」「源義経」「平家・源氏の武将達」を会話や行動描写等から読み取らせた。特に、6場面が与一の行動に対する武士達の「評価」であることを理解させると、生徒達はそれぞれの武士達の気持ちを「自分の考え・解釈」として楽しそうにまとめ、「扇」に込められた象徴性も読み取れた。

「扇が空に舞い上がり海へ散り落ちる様子は、平家の一生を意味している」「扇が波の上で浮きつ沈みつしているところは『平家滅亡』を暗示」という解釈から、「白は源氏、赤は平家のシンボルカラーで、扇が波にのまれる様子は源氏が平家の上に立つことを意味している」等、知的で楽しい交流学习となった。

## 3. 発展的学習【活用型学習1】(2時間)

### —「読書レポート」を論理的にまとめる学習—

記録や小説の「読み方」を生かし生徒の立場・関心、課題意識等から「好きな(印象的な)場面・人物・表現」を選ばせ、「自分の考え・解釈」を「読書レポート」として論理的にまとめさせた。学習の見通しを持たせるためモデル原稿(略)を配布し読み聞かせた。モデル原稿は教師が作成し、論理的な文章構成(はじめ・なか・まとめ・むすび)・具体例の示し方・書き出しの方法等、生徒全員がイメージできるもの。具体例も生徒が嫌悪感を抱く「源義経」を選び、「優れたリーダー」としての肯定的な一面を示すことで新たな解釈の視点の獲得ができるように工夫した。

その後、学習シート⑦(資料7)を配布、生徒に読んだ内容と考えを「構想メモ」にまとめさせた。そして、学習シート⑧(資料8)に「読書レポート」をまとめさせた。モデル原稿や学習シート⑦で書き方を学んだため、生徒はスムーズにレポートをまとめていた。

## 4. 発信・交流学习【活用型学習2】(1.5時間)

### —互いの意見を伝え(学び)深め合うモデル学習—

発信・交流学习では、学習シート⑨(略)を配布、「話す・聞く」の評価基準を示し、説明技術(言語技術)の基礎・基本や「上手なところ」(説明技術、具体例の選択・構成のレベル等)、「改善するともっとよくなる所」(質疑応答、課題の明確化等)、「一言感

想」等を伝え深め合った。「よさ」でつながる実感(友達の新たな一面・視点の獲得等)も指導した。

## 5. 評価・一般化学習(0.5時間)

### —学習の「振り返り」から新たな課題発見へ—

振り返りシート(略)を配布。①「習得・活用型学習」での到達目標(評価基準)が自己評価でき、②「わかったこと」(古典学習の楽しさや大切さ、学び方等)や「考えたこと」(今後の学習や日常生活等に活かす視点等)が記述できるよう作成。振り返りを行うことで「学びの到達度」(到達目標)の確認や新たな課題・疑問の発見等、探究型学力(国語科から他教科への活用、読書力へ等)につながる学習のメタ認知能力(自己学習・評価能力)を育成する。

「一年の時に古文をやった時は難しくてよくわからなかったけど意外に面白くもっと知りたくなった」「僕は古典が苦手だけど、わかりやすく教えてくれて少し好きになった」「自分の好きな場面で読書レポートが書けたのでおもしろかった。書き方も学べたのでよかった」/「古文は最初は意味がわからなくて自分から読もうと思わなかったけど、短い文に含まれるたくさんの意味がすごくおもしろいと分かった」「『平家物語』には、昔の人が今の人に伝えたい人間の強さ等のメッセージがこめられている。全巻を見てみたい」/「与一のように、テストや部活の試合等の状況でも負けないように強い精神を持てるようになりたい」「私はこれまで努力という事が嫌いでした。でも、『平家物語』を読んで何かが変わったような気がしました」/「昔の日本人の価値観を知ること、より世界を広げて周りを見られるようになりました」等の意見が出された。

## 六 実践の考察—「活用力」の育成を授業の軸に—

### 1. 「生き方・判断力を鍛える」評価観6項目

本実践研究の目的は、『平家物語』を読み解き(習得)、自分の関心と立場から論理的に情報を再構成し(「読書レポート」の作成と「習得・活用」)、生活経験や自己の状況と結びつけて批評する学力と言語技術を育てることである。生徒の生き方・判断力(表現力)の評価の観点は、以下6項目から見とり、支援し深めることができる。読書レポートの報告・交流を通して、友達の発見や考えの特色、多様なテキスト解釈・批評の視点、古典と現代・自己を結びつける方法を身につけさせることができる。

#### (1) 古典を学ぶことの楽しさ・追究意欲レベル

古典の中に息づく今に生きる人間性や生き方の輝き、語りや描写力、美意識や生と死、悲しみと喜び等を生徒各自の「課題意識」「生き方」とつなげ考えられる。

#### (2) 古文の学び方(習得・活用)の理解から

「扇的」モデル学習を理解し『平家物語』の読み方(習得・活用・探究)、自分の立場からの解釈・考察・批評等を、定着・発展させることができているか。



### (3) 語りと描写の考察—平家の生き方・文体理解—

描写・語りの精粗の区別、法師による語りの持つ臨場感、立体的な自然描写（光、動き、色彩、変化等）、中心人物の変化と対比的人物群の役割、会話・行動等の心理描写の技術と効果、扇・弓等の象徴的な意味や効果、語り手によるエピソードの考察と意味づけ等。

### (4) 選択した人物と生き方

平家・源氏のどちら側のだれを、どのような理由で選んでいるのか。それぞれの人物の「生き方」や「立場・価値観」のどこに関心を持ち述べているか等。

### (5) 自己の生き方・生活経験と結びつけた考察

古典を自己の生き方、現代の社会状況等と結びつけて解釈・判断・評価しているか。友人関係・家族・部活・既習の各教科と結びつけてまとめているか。

### (6) その生徒らしい表現力（着眼点・説明力、要約・キーワード）—「自分の考え」を論理的に—

(1)～(5)と重なるところで、評価ではレベルを考える必要がある。①既習内容の要約・キーワード化。②語彙力・説明力・表現力。③だれの、どこに、どの場面や行動に着目しているか。④論理的な読書レポート構成の意味を理解し、まとめているか等。これらに生徒個々の関心やこだわり、判断の傾向、生活経験、発想、学習意欲等の特色があらわれる。

## 2. 段階的な指導過程の有効性—「習得」から「活用」へ—

生徒達の立場や関心等から読書レポートを論理的に書くことを「活用型学習」に位置づけることで、「習得」の段階で身につけさせるべき「基礎・基本の学力」の到達度が明らかとなる。結果的に、約9割の生徒達が「習得」で身につけたことを生かして「自分の考え・解釈」として「活用」させることができた。

習得から活用（探究）までの指導過程の明確化は、「何が、どの段階で、どう身についたか」という評価観を明らかにし、全ての生徒達に他教科や読書活動等にも生きる言語力、自己の状況等と結びつけ批評する学力（自己の生き方・判断力）を鍛えることができる。

## 3. 学習シート開発と活かし方—「学力保証」のために—

限られた時間時数の中で全員の生徒達に「学力保証」することは公教育における結果責任である。学習シートは単なる穴埋め形式ではなく、「何を、どのように学べばいいか」という到達目標を明確に、指導事項を整理し、目に見える形で示す必要がある。指導事項を明確にした学習シート開発・活用により、短時間で文章を読み解く技術、「自分の考え・解釈」をまとめさせ、意欲的に学習に取り組ませることができる。

## 七 おわりに

本稿では、新学習指導要領に対応した新しい国語科古典（古文）教材指導を、中学二年の古典教材の学習シートと授業モデルを例に実践的に提案した。特に、21世紀を生きる子ども達に「生き方・判断力」（生活

経験や自己と結びつけ批評する学力）を鍛える立場から、古典教材の一つの「情報モデル」として捉える指導方法・評価観の提案、「テキスト形式（表現形式）」の特質を生かすという新たな発想から古典教材の「学び方・評価」の言語技術を提案、到達目標を明確にした指導過程（習得から活用・探究へのステップ）の開発・実践、検証等が、今日的な実践課題にリンクした問題提起であると考えている。

### 〈付 記〉

本稿は、愛知教育大学大学院教育実践研究科（教職大学院）平成23年度修了報告書『「活用型学力」を育てる国語科授業・評価開発（中学校）—伝統的な言語文化・確かな習得学習を中心に—』（平成24年2月提出、指導教官 佐藤洋一・白井正康）の一部を大幅に加筆・修正したものである。

なお、紙面の制約上、開発した学習シートや生徒達が作成したスピーチ原稿、学習シートの細部に関する詳細と考察等は省略したことをお断りする。

### 〈注 記〉

- 1 藤山江梨子「中学・高校における古典指導の開発」『国語教育2009年5月臨時増刊』（明治図書・2009年5月）、同「日本文化・思考の型を楽しく」『同』（同、2011年2月）
- 2 佐藤洋一・有田弘樹「伝統文化（古典）における『習得・活用』の授業開発」『愛知教育大学研究報告 第61輯（教育科学編）』（2012年3月）
- 3 佐藤洋一「『伝統的な言語文化』の何を、どこまで教え、どのように評価するのか？」（講演資料・2011年）

### 〈主な参考文献〉

- 1 「児童生徒の学習評価の在り方について（報告）」（文部科学省・2010年3月）、「言語活動の充実に関する指導事例集【中学校版】」（同・2011年5月）等
- 2 佐藤洋一編著『国語科「習得・活用型学力」の開発と授業モデル1～4巻』（明治図書・2011年10月）、同著「学校全体で取り組む『言語活動の充実』、何が実践課題か」『平成22年愛知県三河教育研究会』（三河教育研究会・2011年）
- 3 松山宜申「国語科古典学習を例にした全教科・活動の中核となる言語力・活動・評価開発」『第75回国語教育全国大会（日本国語教育学会・2012年8月7日）・発表資料』
- 4 国語教育研究所編『言語技術教育研究 新しい授業の提案1～3』（さくら社・2012年5月）、日本言語技術教育学会編『「伝統的な言語文化」を活かす言語技術』『言語技術教育18』（明治図書・2009年3月）、同学会編『「伝統的な言語文化」を深める授業とは』『同19』（同・2010年3月）、同学会編「新教材・伝統的な言語文化をどう授業化するか」『同21』（同・2012年3月）等
- 5 有田弘樹『「活用型学力」を育てる国語科授業・評価開発（中学校）』『愛知教育大学教育実践研究科（教職大学院）修了報告論集 第3輯』（2012年3月）、同「これからの新入教員に求められる『実践的な指導力』」『平成23年度日本教育大学協会研究集会・発表紀要』（2011年10月）

（2012年9月4日受理）